

自己点検・自己評価報告書

2018年3月31日現在

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年）準拠

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2018年3月31日作成

評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	専門職としての深い知識・技術の習得にとどまらず、豊かな人間性を育むことを通じて社会に貢献する医療福祉人材の育成する理念が定めている。
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	各学科ともに、関連業界との連携を重視し、現場実習や業界で活躍している卒業生等が非常勤講師として教授し、関連業界の動向を常に注視し、学科運営に反映させている
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	カリキュラムの充実を図るために、講師会等において専任・非常勤講師の情報交換、会議を行い、改善があれば即対応している。
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	超高齢社会に伴う要介護者の増加や医療費抑制における代替医療の需要の高まりにより、介護従事者、柔道整復師、はり師きゅう師の需要は今後さらに高まると見ている。また、少子社会対策においても、保育人材の需要は今後とも高まると見ている。

①課題

・学校の理念、教育目標等について、更なる周知徹底をしていく必要がある。

②今後の改善策

・学校の理念、教育目標等について配布物、HP等による周知の機会を増やす。

(2)学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
理念に沿った運営方針を定めているか	4	「自らを律し、卓越した知識・技能、思いやりのある人材を育成する」という理念・目的を果たすため、厚生労働省の認可を受けた養成施設として、養成施設指定基準及び関連法規に基づき学校運営を行っている。年度毎の運営方針は本校の理念や関連業界や社会的な動向等を踏まえて定めている。
理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	前年度の反省点、改善すべき点を踏まえ、毎年度事業計画を策定している。
設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	経営会議において学校運営全般の重要事項の審議を行い、教務会議において教務関連事項の検討・審議を行っている。
学校運営のための組織を整備しているか	4	組織図、校務分掌による役割分担に基づいて学校運営を行っている。
人事、給与に関する制度を整備しているか	4	教職員の就業規則、給与規定を定めている。
教務・財務等の組織整備など意思決定システムを整備しているか	4	意思決定システムは概ね確立されており、所定のプロセスに従って決定されている。法人においては寄附行為に基づき、「理事会・評議員会」で意思決定している。
情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	OA機器の導入、イントラネットの構築など業務の効率化は図られている。さらなる業務の効率化を目指し、平成30年度に新たな教務システムの導入を行う。

①課題

・教職員のPDCAサイクルを具体的に計画し、着実な実施を行う。

②今後の改善策

・PDCAの目標設定を数値目標を多く取り入れるなど、より具体的な設定を記載するように検討する。

(3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めているか	4	社会のニーズに沿った人材育成を行うことを教育理念と掲げ、各学科の養成施設指定規則に則って策定されている。
学科ごとの修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	資格・免許の取得が卒業時の目標となるので、各年次の学習内容、実習等に応じた指導を行っている。教育到達レベルは「授業概要」(シラバス)の各科目の授業目標や授業計画に記載されている。目標とする資格等は学校案内やHP、学生便覧に示している。
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	各学科の養成施設指定規則に則って、体系的にカリキュラムを編成している。
教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	実習指導者懇親会を開催し、実習施設の意見を聞き、改善内容を適宜検討し、講師会議で決定している。
キャリア教育を実施しているか	4	救急救命講習や認知症サポーター講習を受講しており、就業後の業界に必要な資格取得をカリキュラムに組み込んでいる。
授業評価を実施しているか	4	年2回の授業評価アンケートを実施し、教務課を通じ全教員へアンケート結果のフィードバックを行っている。
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	成績評価・単位認定等の基準は学則に基づき判定をしている。詳細については、年度始めのオリエンテーション時に学生便覧を配布し説明している。
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	学内では保育技術発表会を開催し、校外の発表としては、関連分野団体が開催する研究発表会への参加を通じて成果の把握をしている。
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	各学科の教育課程を修了することで、取得できる資格・免許について、学生便覧等に明記し、学生に周知している。
資格・免許取得の指導体制はあるか	4	学生全員が卒業に必要な資格を取得できるよう、担当教員は勿論教員全体で国家資格取得に向け丁寧な指導に努めている。
資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	各学科の養成施設指定規則に規定された要件を満たす教員を確保している。また、特定の専攻分野においては、現役の施設長や保育園園長など関連業界等の経験者を採用している。
教員の資質向上への取組みを行っているか	3	教員の専門性を向上させるため、関連業界・団体の研修に参加している。また、校内でも教員の指導力向上を目的とした研修を実施している。
教員の組織体制を整備しているか	4	教員の組織体制は法令を遵守し、適正に整備している。毎年、講師会議を開催し専任・非常勤講師間での授業内容・教育方法の統一を図っている。

①課題

・平成30年度より施行された柔道整復学科、はりきゅう学科の新カリキュラムの円滑な実施。
・平成31年度より施行される介護福祉学科、こども保育学科のカリキュラム改定への移行。

②今後の改善策

・各学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているが、内容について、業界関係者など外部の意見をより多く聞き、教育課程編成委員会を通じて内容の充実を図る。

(4)学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
就職率の向上が図られているか	4	キャリア支援課を設置し、1年生から就職指導を行うことや個別指導を通じて就職率の向上を図っている。
資格・免許取得率の向上が図られているか	3	入学生の学力低下が著しい現状を鑑み、低学年時から国家試験対策を強化しているが、介護福祉学科は合格率100%であったのに対し、柔道整復学科、はりきゅう学科は前年度より合格率が低下した。
卒業生の社会的評価を把握しているか	4	卒業生・在校生の社会的な活躍は、長年にわたる本校の教育効果と考え、学校案内、ホームページ等にて紹介している。

①課題

- ・基礎学力、学習能力の向上へ向けたさらなる工夫が必要である。
- ・卒業生に対する再就職支援などのフォローアップ体制の整備を充実させる必要がある。

②今後の改善策

- ・医療系学科については、指導体制の見直し及び、リメディアル授業の拡充を図る。
- ・卒業生への支援については、同窓会との連携を深め、HP、SNS等を活用することにより、卒業生への支援を強化していく。

(5)学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	校内での就職ガイダンスの開催、キャリアプランのカリキュラム化等により支援している。また3名の就職担当者及び担任により相談を含めた支援体制を整備している。
退学率の低減が図られているか	2	入学してくる学生が多様化する中で、退学率の低減は学校が取り組むべき重要な課題と認識している。スクールカウンセラーの配置や問題生徒の個別対応の強化を図っている。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラスごとの担任制を敷いており、学生相談はまず担任が受け、相談内容に応じて、スクールカウンセラーや教務課が対応している。
留学生に対する相談体制を整備しているか	2	留学生が若干名の在籍であるため、特に相談体制は整備していない。
学生に対する経済的な側面に対する支援体制を整備しているか	3	学費の分納制度のみならず、各自治体の修学資金制度、日本学生支援機構奨学金、日本政策金融公庫の教育ローンの紹介や申請手続きなどの支援体制を整備している。
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	年1回の健康診断を実施している。体調不良者を受け入れる保健室を設置している。
学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	遠方からの入学者は数名のため学校からの斡旋は行わず、学生マンション等を紹介している。
課外活動に対する支援体制は行われているか	2	課外活動には場所の提供は行っているが、補助金の支給は行っていない。
保護者と適切に連携しているか	4	新入学生オリエンテーションには保護者も出席してもらい、学校・学科の規定、時間割、履修内容等についての説明の場を設けており、保護者への学科理解促進に努めている。出席及び成績不良者には、保護者に連絡をして改善に向け連携している。
卒業生への支援体制はあるか	4	同窓会と連携した卒業研修の実施をしているが、一部学科での実施に留まっている。就職情報の提供は各学科ごとに対応しているが、今後はキャリア支援課を中心に支援体制の充実を図っていく。
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3	関連業界団体と連携、情報交換を行うとともに、要請があれば研修会等へ本校教員を派遣している。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	社会人経験者には、一定の条件を満たすことで国の教育訓練給付金制度が受けられる専門実践教育訓練講座の指定を受けており、該当者には入学前に情報の提供と資格確認を行っている。

①課題

・平成29年度は退学率が増加しており、退学率を低減させるための対策を強化する必要がある。今後増加が予想される留学生の相談体制の構築が必要。

②今後の改善策

・退学率については、今年度はここ数年の中で一番高い数字になってしまった。このことは、資格取得率の向上や、卒業後のキャリア形成への効果把握と学校の教育活動改善への活用などの課題とも関連していると考えられ、学生の自己肯定感の醸成や長期的目標設定ができるような指導を同時に行っていく必要がある。
 ・外国人留学生の入学に関して日本語力や文化への理解等、一定の基準を定める。

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	必要性のある設備については整備されており、教育上充分に対応できている。
実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	学内においては専用実習室を整備し、学外では指定基準を満たした実習施設を確保している。また、実習前、実習後の指導を徹底することで高い教育的効果が得られるように努めている。
防災に対する組織体制を整備し、適切に運営しているか	4	防災マニュアルを整備し、防災設備の点検を業者立ち合いのもと実施している。
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	学校安全計画は策定していないが、学校安全保健法の規定に準じて対応する必要があると考えている。

①課題

・より高度な教育環境を実現するための施設や設備の更新
 ・防災訓練の実施

②今後の改善策

・設備面でのメンテナンスなど、定期点検をさらに強化して、必要な設備等があれば更新する。
 ・全学生対象の防災訓練は実施されていないので、今後は実施に向けて検討を行っている。

(7)学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	都内外の高等学校への訪問を定期的実施している。学校説明や学生募集以外に当該高校出身者の学習状況や卒業後の就職状況等も伝え、高校との信頼関係の構築に努めている。また、高等学校が開催する進路ガイダンス等にも積極的に参加している。
学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	4	学校説明会等において、教育方針、特色、入試形態、カリキュラム、学費や就職状況等を詳しく説明し適正に行っている。
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	各入試基準は明確化し、募集要項に記載している。
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	入学選考結果を入学後の学力判断資料とし、教員会で情報共有し、授業内容や学生指導に反映している
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	同分野の他校と比較して、平均的な学納金の設定となっている。
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	3月末日までに入学辞退の意思表示をした場合は、選考料及び入学金を除く学費を返還する旨、募集要項に明示している。

①課題

少子化、高校生の大学進学志向、就職状況の向上などが顕著である中で、高校新卒生の入学割合が年々減少している。

②今後の改善策

高校生には早い学年から、設置している各学科の業界の魅力や活躍する卒業生の状況を周知する広報活動を行い、入学希望者の増加に努めていく。

(8)財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	平成29年度の学園全体として、教育活動収支ならびに教育活動外の収入が、それぞれの支出を上回り、中長期的には安定要因が上回っている。
学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	主要な財務数値の推移は、月次で把握している。
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	事業計画や教育目標を検討し、整合性を図っているが、設備の経年劣化等に伴う設備整備については中期的に見直しを行っている
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	適切に執行されている。会計監査を受け、理事会、評議員会で事業報告と決算書の承認を得ている。
私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している	4	監事が決算書と諸帳簿を照合し、適正に会計監査を実施している。
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	2	利害関係者には公開できる体制を整えている。

①課題

・財務情報については利害関係者のみの公開になっている。

②今後の改善策

・情報公開についてはHP上で一般公開ができるよう準備を進める。

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	関連する法令及び養成施設設置規則を遵守している。
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	個人情報保護規程を整備し、使用済み名簿等のシュレッダー及び溶解での廃棄を実施している。校内のサーバー、パソコン等のウイルス対策も強化している。
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	関係する諸規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に準拠して実施している。
自己評価結果を公開しているか	1	次年度より自己点検及び自己評価の報告は、冊子及びホームページで公開し、閲覧できるようにする。
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	1	次年度より学校関係者評価が実施できる体制を整備しており、評価を行ったうえで、課題の改善に努める。
学校関係者評価結果を公表しているか	1	次年度より学校関係者評価が実施できる体制を整え、評価を行い公開できるよう努める。
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	学校案内パンフレットやHP等で情報公開をしている。

①課題

・今年度より自己点検及び自己評価を実施し、現在結果を公開する環境を整備している。また、学校関係者評価の実施体制及び公開についても、次年度に向けて整備している。

②今後の改善策

・学校関係者評価委員会の実施を行い、結果の公開についても、HP上で公開できるよう次年度に向けて整備している。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地域の自治会行事への積極的参加や防災活動において連携をとるなどの地域貢献を行っている。
国際交流に取り組んでいるか	2	留学生の受け入れ以外の交流は行っていない
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	夏休みや春休みなどにボランティアに参加することを奨励している。また、福祉施設等からのボランティアの依頼に関しては、学生に情報提供をしている。

①課題

・学校の立地や設備の制限のあるなか、最大限の利用に努めているが、さらに社会貢献・地域貢献に努めていく。

②今後の改善策

・様々な団体との連携により、学内外の施設を利用した社会貢献・地域貢献の機会も増やしていく。